

2019年11月14日

国立大学法人東京医科歯科大学
学長 吉澤 靖之 殿

医学部附属病院監査委員会

2019年度第1回医学部附属病院監査委員会の結果報告について

国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院監査委員会規則に基づき、下記のとおり監査を実施しましたので報告いたします。

1. 監査の時期

2019年9月19日（木）

2. 監査の方法

医学部附属病院の安全管理体制等について、医学部附属病院管理者、医療安全管理責任者、医療安全管理部長、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者へのヒアリングを行った。

3. 前回の監査結果への対応状況について

(2018年度第2回監査委員会より)

DNARの表示について、事例を通じて改善案や対策案を検討している点はとても素晴らしい。しかし、電子カルテの記載が古くなるとコメントが順送りで下へ移動してしまい、確認のためにスクロールが必要で時間を要するため、一目でわかるような表示場所や確認頻度等について、今後も検討を続けてほしい。

(対応状況)

電子カルテ上の表示場所の問題はシステム改修を要するため早急な対応は困難であるが、記載内容や記載場所について院内で統一された運用がされていなかったことから「DNAR取得に関するWG」を設置し検討を行っており、結果についてリスクマネージャー会議にて周知を図る予定である。

4. 監査の結果

指摘事項はなく、事例における対処、対策も適切であり、今後とも継続して医療安全の確保に努めてほしい。

また、可能な限り人による作業を削減させ、作業ミスの減少や人的余裕の確保のためにも、新規装置やシステムの導入・活用を検討するとより一層よいと思われる。

以上